



2005/7/15

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第7号



◆ INDEX



- * TOPICS
- * 健康ワンポイントアドバイス(今月はお休みです)
- * 今月の Key Word【地球温暖化】
- * 労働衛生事例【熱中症】
- * 新着情報
- * 研修・セミナーのご案内(7・8月分)
- * お知らせ

◆ TOPICS

◆アスベスト問題への対応で政府が相談窓口を設置/環境省◆

石綿(アスベスト)問題に関する関係省庁会議が開かれ、対応策がとりまとめられた。
事業場への立ち入り調査の実施や石綿を扱う作業に従事していた労働者とその家族、周辺住民を対象にした健康相談窓口を設置のほか、建築物解体時の飛散予防の徹底、石綿含有製品の代替化促進などの対策をあげている。

<http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=6175>

▽石綿による健康被害への対応について/厚労省

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2005/07/h0708-1.html>

◆ 健康ワンポイントアドバイス

今月はお休みです。

◆ 今月の Key Word【地球温暖化】

化石燃料の燃焼や森林破壊は、二酸化炭素濃度を増加させ「地球温暖化問題」をひきおこしています。これまで文明社会の根幹を担い、エネルギー関連活動などに伴って発生する二酸化炭素やフロン

などの物質については、「公害問題」の視点からは悪者とされず、一般環境に放出されてい
ました。

しかしながら、これらの物質が「宇宙船地球号」という閉ざされた空間内に放出されることにより、地
球規模で自然環境が変動する可能性が指摘され、「地球環境問題」として認識されるようになりまし
た。

温室効果ガスである二酸化炭素の濃度を増加させたとき、地表面の温度が上昇することは、科学的
にも示されています。また、二酸化炭素やフロンなどの物質の寿命が短ければ温室効果自体は強くて
も、長期的にみれば影響は少ないが、寿命が長ければ、温室効果が小さくても、長期にわたって影響
を与えるので無視できません。

二酸化炭素濃度は、産業革命以前は、280ppm程度であったものが、1991年になると355ppm
に増加しています。近年は、毎年約1.8ppmずつ増加しているとされています。

フロンは天然には存在しない人口の合成化学物質で、洗浄溶媒、冷媒、発泡剤・断熱剤、スプレー
噴射剤など多くの用途に使われてきました。また、対流圏でも他の物質とほとんど反応しないため、分
解されずにいつまでも大気中にとどまり「温室効果」をもたらしてきました。

このフロンが対流圏から成層圏に流れ込んだ場合には、紫外線で分解して生じた塩素原子が、オゾ
ンを連鎖反動的に破壊するため、地表では有害紫外線が増加します。

地球の表面温度は、地表が受ける太陽からの受光エネルギーと、地表から宇宙に放出する放射光
エネルギーのバランスにより決まります。雲や大気中のちりなどで反射される部分(30%)を除いて、
太陽光エネルギーの多く(70%)は地表面で吸収されます。

吸収されたエネルギーは、赤外光となって放出されますが、一部は雲などにより反射されて地表にも
どってきます。雲以外で赤外光を遮断しているのが、水蒸気、二酸化炭素、フロン、メタンなどですが、
このような赤外光を吸収する成分が大気中に増加すると、赤外光の再放出が妨げられ、地球のエネル
ギー収支がプラスとなって地球が温められることとなります。

温暖化による健康への直接的な影響は、夏の酷暑による熱ストレスによる死亡増加、呼吸器とアレルギー疾患、伝染病の増加があげられます。また、間接的な影響では、渇水、洪水や社会・経済の破綻
などをもたらす、さらに食物と水不足は栄養失調の増大をひきおこし、そして病気に対する免疫性を弱く
するなどです。

これらの二次的な影響も直接的なものよりずっと深刻になると予測されています。

—「地球環境ハンドブック」—朝倉書店—

◆ 労働衛生事例

/////熱中症/////

①平成16年7月発生、建設業、気温30度 C、相対湿度60%、40才代

②発生状況

工場新築工事現場において、被災者は午前8時頃から、屋根部材の段取り作業等に従事していた。
午後2時20分頃からの休憩中に、被災者が体調不良を訴えたことから、同僚は被災者を残し仕事に
戻った。そして、午後3時30分頃、意識不明の状態である被災者が発見され、救急車で病院へ搬送さ
れたが、まもなく死亡した。

③主な発生原因

- ア 水分・塩分の補給指導が不十分
- イ 熱中症予防の教育が不十分
- ウ 応急措置が不十分

◆ 新着情報

★新着パンフレット★

▽平成17年度 relax～職場における心の健康づくり(事業場における労働者の心の健康づくりのための指針)

無料配布中です。

☆ 新着雑誌 ☆

■働く人の安全と健康／7月号

特集◎座談会・・・快適職場づくりの更なる展開をめざして

■安全衛生のひろば／7月号

特集◎上手に汗をかこう

■労働安全衛生広報／No. 871

NEWS◎重大災害の増加を受け、厚生労働省が緊急要請

■へるすあっぷ21／No. 249

特集◎代替医療の知恵を健康づくりに生かす

いずれの雑誌もセンターでご閲覧いただけます。

◆ 研修・セミナーのご案内(7・8月分)

=== 衛生管理者等研修 ===

▽7月20日(水):存在の認識と発想の転換による産業保健活動の進め方【三角所長】

▼8月1日(月):メンタルヘルスの実態調査から見てきたもの【青木相談員】

▼8月25日(木):ステップアップ! 職場巡視【神代講師(産業医科大学 産業生態科学研究所教授)】

=== カウンセリング研修 ===

▼8月9日(火):積極的傾聴【佐用相談員】

=== 産業医研修 ===

▽7月22日(金):復職判定の実際【青木相談員】

▼8月4日(木):歯科からみたメンタルヘルス【安東特別相談員】

▼8月25日(木):ステップアップ職場巡視

【山田講師(なごや労働衛生コンサルタント事務所所長 / 愛知医科大学 客員教授)】

▼8月27日(土):産業医のための作業環境測定機器の使い方(実習)【田口相談員】

◎いずれの研修もお申し込み受付中!!

